

# 国語科 小学校 1年

## 単元の流れ（全10時間）

### 第1次【第1時】

#### 主な学習内容

題名から話の内容を想像する。  
範読を聞き、好きな場面や心に残ったことなどを発表する。

### 第2次【第2時～第6時（本時 第5時）】

#### 主な学習内容

場面の様子を登場人物の行動を中心に、想像を広げながら読み、読み取ったことを話し合う。

第2時…第1場面 エルフとぼくが一緒にしたことから仲の良い様子を想像する。

第3時…第2場面 「ぼく」と家族のエルフに対する行動の違いに気付く。

第4・5時 「ぼく」が、年をとったエルフを心配する様子やエルフが死んだときの様子からエルフを大切にしていたことを読み取る（本時）。

第6時…第4場面 エルフの死後の「ぼく」の様子を読み取る。

#### 「活用」の力育成のために

叙述や挿絵をもとに、自分の経験や友達の見聞を生かして読む。

主体的に教材を読み進める中で、読書の楽しさを体験し、読書に親しみをもつことができるようにする。

### 第3次【第7時～第10時】

#### 主な学習内容

自分のおすすめの本を「紹介カード」に書き、それをもとにして本を紹介する。

詳しい指導計画はこちら

CLICK

#### 「活用」の力の育成のために

友だちにおすすめの本を紹介する活動を通して、易しい読み物に興味を持てるようにする。また、自分で好きな作品を選んで読めるようにしていく。

評価問題

CLICK

単元名 本はともだち

「ずうっと、ずっと、大すきだよ」

光村図書「こくごー下」

#### 単元目標

○場面の様子を登場人物の行動を中心に、想像を広げながら読む。

#### 単元構成の意図

第1次で、物語のあらすじを大まかにとらえ、好きな場面を発表する中で、初めての長編の物語教材に興味と読む意欲をもたせる。

第2次では、登場人物の行動を中心に、挿絵も活用し、想像を広げながら読む。本文と挿し絵を対比させながら読むことで、登場人物の行動や様子を叙述から正しく読み取らせるようにする。ここでは、一人一人の意見を出させるとともに、友だちの意見をしっかりと聞かせる学習を進める。様々な意見をまとめ、整理して板書し、学習の振り返りの場面でも活用する。

第3次では、第2次までの学習の成果を生かし、様々な図書の中から動物を扱った本を選ばせる。本教材と読み比べながら読書することや自分で図書を選ぶことの楽しさを味わわせる。

#### 「活用」の力を育てるポイント

- ①挿絵も活用しながら、あらすじを押さえ、場面ごとに想像を広げさせる。
- ②友だちの発言の内容や根拠に気を付けながら聞く習慣を身に付けさせる。
- ③読み取ったことや話合いを通して気付いたことを、ワークシートに書く活動を取り入れ、自分の思考を整理させる。
- ④本時の目標を明確にするとともに、めあてについての振り返りをさせる。

HOME

本時の流れへ